

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照の上作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標に関わる学級の目標を設定する。		自分の大切さを認めることを中心にした指導をする。		他の人の大切さを認めることを中心にした指導をする。							
各教科	外国語 「Hello everyone」			理科「生命のつながり」		国語「きいてきいてきいてみよう」	国語「よりよい学校生活を送るためには」	国語「あなたはどうか考える」	国語「やなせたかし - アンパンマンの勇気」	社会「情報を生かすわたしたち」	国語「大造じいさんとがん」	理科「人のたんじょう」
道徳	友情・信頼	公德心・規則の尊重	愛校心	生命尊重 基本的な生活習慣		自然愛 尊敬・感謝	自然愛 家族愛	公德心 親切	希望・勇気 謙虚・寛容	個性伸長	生命尊重	個性伸長 愛校心
総合的な学習の時間		「SDGs」 SDGsについてしらべることで、環境問題や、「ジェンダー平等」の問題について学び、視野を広げる。										
特別活動	「1年生を迎える会」	「全校遠足」		「西小松川まつり」					ユニセフ募金			「6年生を送る会」
保護者・地域との連携	保護者会・地域訪問 家庭と連絡を取り、児童の実態を把握する。			個人面談 家庭と連携を取り、児童理解を深める。				道徳授業地区公開講座 道徳教育の取り組みと大切さを伝え、連携をとる。				

「 」 = 個別的な視点からの取組（「 」内は人権課題） ↔ = 関連的な指導 = 「生命尊重」の精神の育成を重点とした指導